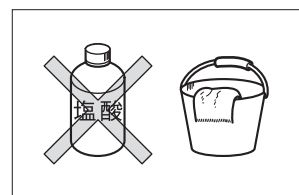
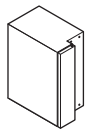





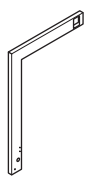
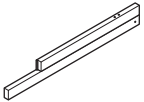


この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。未永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠ 施工上のご注意

- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は錆びの原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 施工前に水平出しを行い、前面傾斜にならないよう必ずご確認ください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 錆の原因となりますので、本体を塩酸などの酸類で洗わないでください。
又、リシン等の塗料がかからないようにしてください。
- 本体の前面に、ホース等で直接水をかけないでください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- 施工完了後は、開閉など可動部のチェックを行い不都合がないか確認してください。
- むやみに改造・変更をしないでください。
- ねじなどのゆるみがあるかどうか確認し、ゆるんでいる場合はしめてください。



No.	同梱部品	数量		単位
		L	R	
1	専用ポスト (別手配品) 	1	1	セット
2	スペーサー 	1	1	枚
3	トラス小ねじ (M4×30) 	4	4	個
4	トラス小ねじ (M4×20) 	2	2	個
5	スプリングワッシャー (M4) 	4	4	個
5	フランジ付六角ナット (M4) 	2	—	個
6	ポールA 	1	1	セット
7	ポールB,C 	1	1	セット

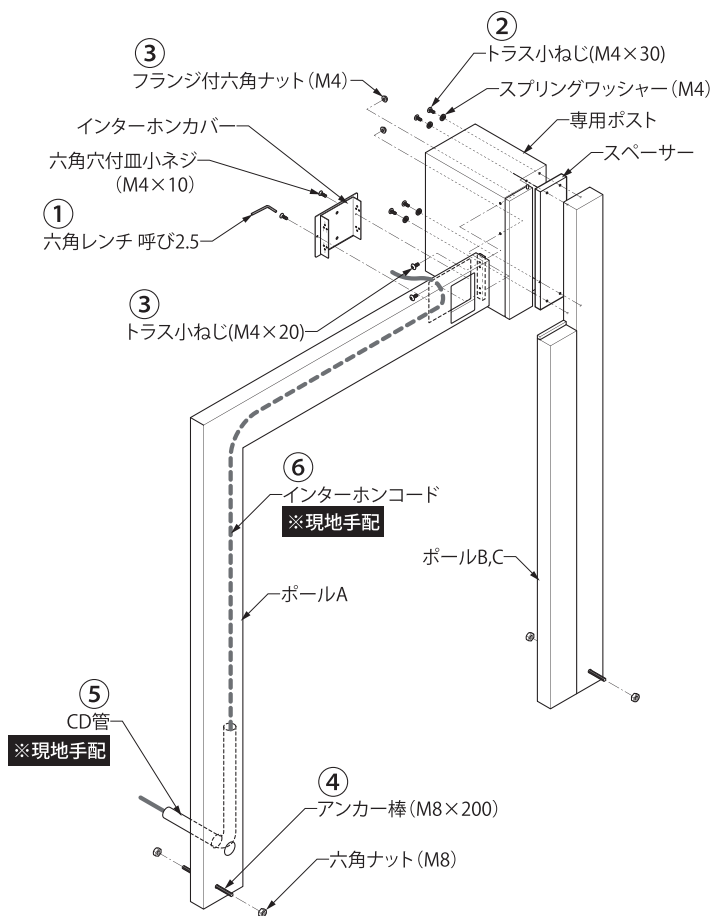
No.	同梱部品	数量		単位
		L	R	
8	インターホン子機 取付台座 	1	1	個
※9	トラス小ねじ (M4×8) 	6	6	個
10	六角レンチ 呼び2.5 	1	1	個
11	アンカー棒 (M8×200) 	2	2	本
12	六角ナット (M8) 	4	4	個
13	タテ用トレイ 	1	1	個
14	ダイヤル錠 開錠番号シール 	4	4	枚
15	ダイヤル錠 管理シール 	1	1	枚

※No.9のねじはインターホン外部付けの場合2個のみ使用します。

■組立て

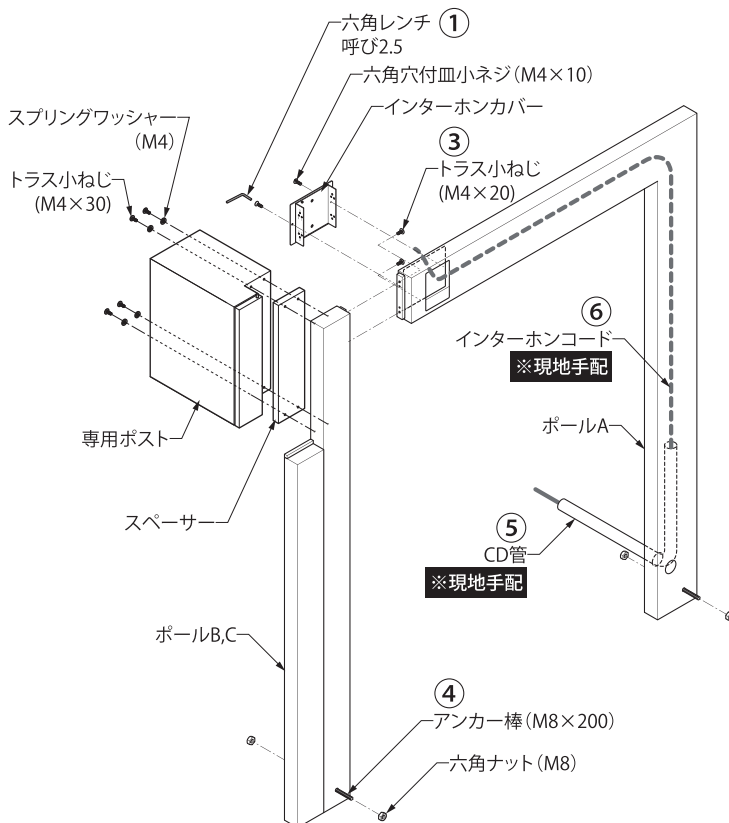
スクリーン

- ① インターホンカバーを同梱の六角レンチで取外してください。
- ② 専用ポストをトラス小ねじ (M4×10) でポールBCに取付けてください。
- ③ 専用ポストとポールAをトラス小ねじ (M4×20) とフランジ付六角ナット (M4) で連結してください。
- ④ アンカー棒をポールA・ポールB,Cに挿入し、六角ナット (M8) で固定してください。
- ⑤ CD管(※現地手配)を挿入してください。
- ⑥ CD管からのインターホンコード(※現地手配)を通してください。



スクリーンR

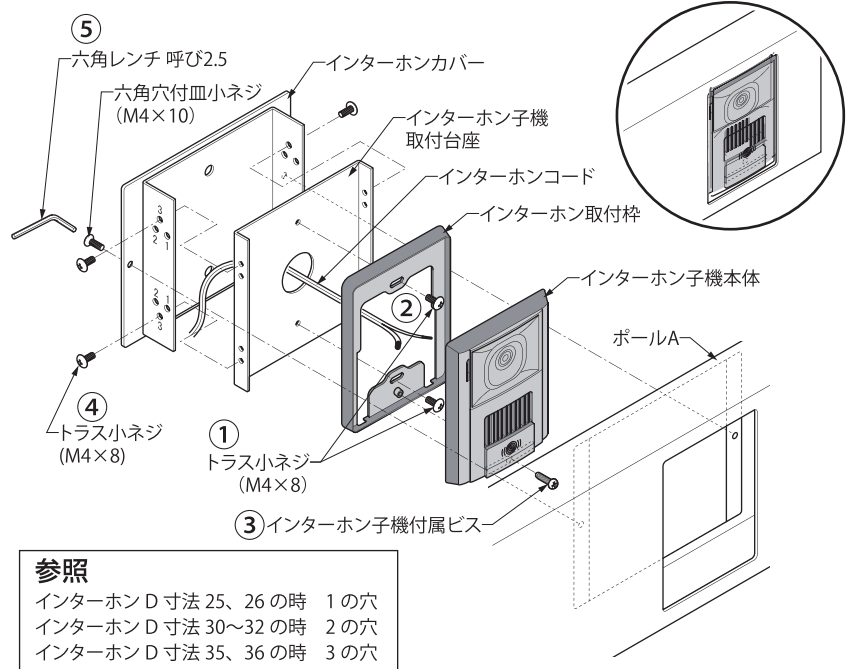
- ① インターホンカバーを同梱の六角レンチで取外してください。
- ② 専用ポストをトラス小ねじ (M4×10) でポールBCに取付けてください。
- ③ ポールAとポールBCをトラス小ねじ (M4×20) で連結してください。
- ④ アンカー棒をポールA・ポールB,Cに挿入し、六角ナット (M8) で固定してください。
- ⑤ CD管(※現地手配)を挿入してください。
- ⑥ CD管からのインターホンコード(※現地手配)を通してください。



■インターホンの取付け(別途品)

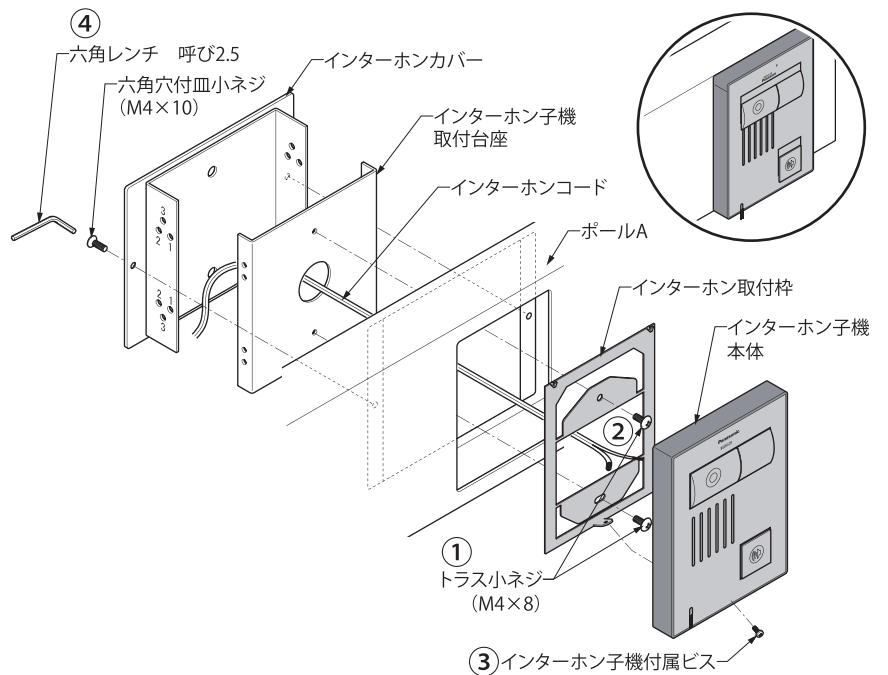
内部付けの場合

- ① インターホン取付枠をインターホン子機取付台座にトラスねじ(M4×8)で取付けてください。
- ② CD管からの配線(※現地手配)をインターホン子機に結線してください。
- ③ インターホン子機本体を取付枠に取付けてください。
- ④ インターホンカバーにインターホン子機取付台座を取付けてください。取付位置はインターホン本体の奥行きにより、1.2.3番の適切な穴位置でトラス小ねじ(M4×8)で取付けてください。
- ⑤ インターホンカバーを六角レンチを使って六角穴付皿小ねじ(M4×10)でポールAに取付けてください。



外部付けの場合

- ① インターホン取付枠をインターホン子機取付台座にトラスねじ(M4×8)で取付けてください。
- ② CD管からの配線(※現地手配)をインターホン子機に結線してください。
- ③ インターホン子機本体を取付枠に取付けてください。
- ④ インターホンカバーを六角レンチを使って六角穴付皿小ねじ(M4×10)でポールAに取付けてください。

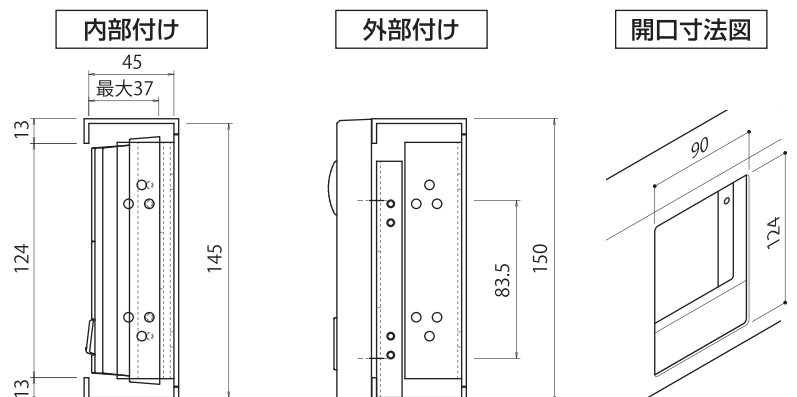


⚠️ ご注意

- 結線後必ず絶縁処理を施してください。
- 本体にホース等で直接水をかけないでください。インターホンの故障の原因となります。

⚠️ ご注意

- インターホンは各社製品に概ね対応可能な設計になっております。ご確認の際は製品寸法・開口・取付けピッチを参考にしてください。カメラレンズ、マイク、スピーカーを妨げないようにご注意ください。
- 子機の機種によって取付けできない場合があります。



■本体の固定

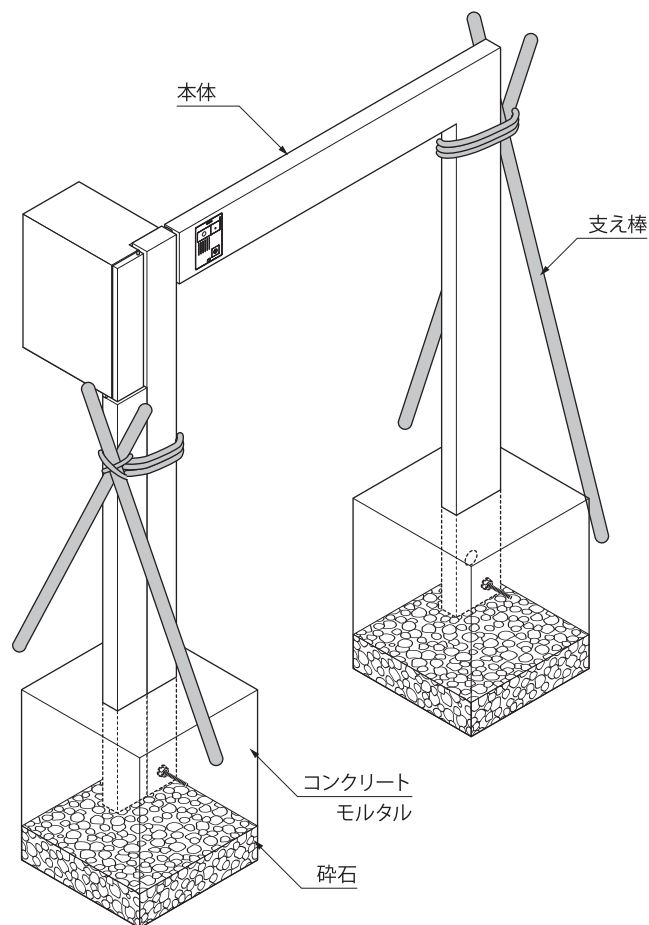
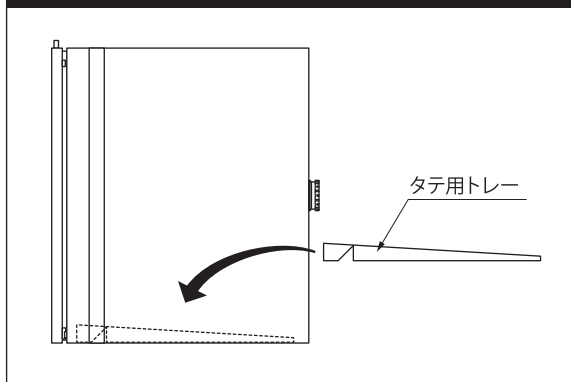
- ①基礎穴を掘り、水たまり防止のための砕石を敷いてください。
- ②本体をコンクリート・モルタルで固定します。

⚠️ ご注意

- 本体を傷つけないよう養生した後、支え棒で自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートで打ってください。

⚠️ お願い

- 郵便物をぬらさないようにする為、必ずタテ用トレーを入れてください。
- ※取り出し口用扉を開き、トレーを取り付けてください。



■寸法図

